



衆議院議員

たまき 雄一郎

実績を積み重ね
 ふたたび政権を
 担える政党に脱皮する

「民進党」発足にあたって

民主党と維新の党が合流し、「民進党」が結党されました。安倍政権の「一強多弱」が続き、権力の驕りやゆるみが見られる中、緊張感のある政治を取り戻すためにも、皆で力をあわせて頑張る参ります。政権を担える政党に脱皮するためにも、政権の問題点を厳しく追及・監視する一方、経済政策や外交安全保障政策について、独自の「新政策」を打ち出していきたくと考えています。どうか引き続きのご支援、ご指導よろしくお願い申し上げます。

衆議院議員 **玉木雄一郎**

玉木雄一郎(たまき ゆういちろう) プロフィール

昭和44年、香川県さぬき市生まれ。高松高校、東京大学法学部、米国ハーバード大学院卒業。財務省主計局主査などを歴任。平成21年衆議院選で初当選(香川2区)。現在3期目。安全保障委員会理事、予算委員会委員、TPP特別委員会委員。民進党国会対策副委員長。

フェイスブックで随時活動を更新中!

たまき雄一郎 検索

ホームページ & メール
 HP: <http://www.tamakinet.jp/>
 E-MAIL: pr@tamakinet.jp

事務所・連絡先

寒川事務所
 〒769-2321
 香川県さぬき市寒川町石田東甲814-1
 TEL: 0879-43-0280
 FAX: 0879-43-0281

坂出事務所
 〒762-0032
 香川県坂出市駒止町1-2-20 サンコート1階
 TEL: 0877-46-1805
 FAX: 0877-43-5595

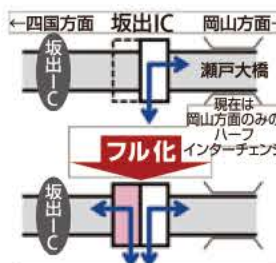
国会事務所
 〒100-8981
 東京都千代田区永田町2-2-1
 衆議院第1議員会館706号室
 TEL: 03-3508-7213
 FAX: 03-3508-3213

地元香川の案件も着実に進めています

東京オリンピックまでにフル化実現へ!!

坂出北
 Sakaide-kita
 4 出口 EXIT

フルインター化のイメージ



利便性向上、
 物流円滑化、
 防災対策に効果

たまき雄一郎による3年連続4回の国会質問でフル化が大臣(当時)の関心事に!

玉木先生にお会いするたびに進んでいるかなとずっと心配している。応援は惜しまない。
 (平成27年3月10日 衆院予算委員会分科会における太田国交大臣答弁)



たまき雄一郎がスマートIC予算活用を国会で提案し、国の調査費が実現!

平成26年2月26日衆院予算委分科会



本年2月25日、衆議院予算委員会(第8分科会)で、2020年の東京オリンピックまでの早期実現を直談判!



中方橋2月29日開通実現!

国会で国土交通大臣に2月中の開通を強く要請(2月25日)

橋脚及び桁が沈下
 被害を受けた中方橋 (昨年7月)

まず歩行者・自転車を通れるように
 被害現場を視察 (昨年8月)

昨年8月14日
 歩行者・自転車
 が通行可能に

自動車が通れるよう国がプッシュを
 国会で大臣に要請 (今年2月)

今年2月29日
 自動車
 (14t以下)が
 通行可能に

2月29日午後3時
 ついに開通!

高松自動車道 4車線実現へ 工事着手率100%!



渋滞解消、交通事故防止、防災対策に効果

平成24年4月
 地元負担ゼロの新方式による4車線化を
 民主党政権下で決定

平成30年度
 平成28年2月末に工事着手率100%となり
 2年半後に完成します

アベノミクスで年金が危ない! 年金運用 5兆円の損失隠し



平成26年秋、安倍内閣は、GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)の運用を見直し、これまで最大24%だった株式投資比率を50%にまで拡大させました。しかし、**大幅な株価下落で、平成27年度の二年間で約5兆円の運用損が発生している見込みです。**

から隠そうとしています。アベノミクスの成功を演出するため、国民の年金資金を使って株価を上げようとしたことが裏目に出て、約5兆円もの巨額損失が発生したのです。もし運用の見直しをしていなければ、損益はプラスマイナスゼロだったと試算する専門家もいます。とにかく、国民の年金を使ってギャンブルするようなことは、即刻やめさせなければなりません。



TPP 交渉

黒塗りの資料で 情報隠し



4月7日、TPP(環太平洋経済連携パートナーシップ)の審議が衆議院のTPP特別委員会で始まり、民進党になって初めての質問に立ちました。TPPの合意内容

が本当に国益にかなうものなのか、交渉過程も含めて吟味しないと、責任ある判断はできません。それなのに、交渉過程について**政府から提供されたペーパーはすべて**

黒塗りで、まるで「のり弁当」状態です。

さらに問題なのは、国会や野党に対して情報をヒタ隠しにする一方で、西川TPP特別委員長は、交渉の内実を記した本を法案通過後に発売しようとしていました。その原稿と思われる文書を手し、ご自身が書いたものかと質問しても書いたと認めませんでした。しかし、4月8日、国会の審議が中断している際、自民党議員とのヒソヒソ話がマイクに拾われ、自分が書いたものだとはバラしてしまいました。

こんな状態ではまともなTPP審議は出来ません。政府、与党に対し、徹底した情報開示を求めていきます。